



	<p>(学内のみで閲覧可)</p> <p>3. 担当者により説明されます。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>社会人基礎力を十分身につけて、社会で活躍できるように学力、人間関係を円滑に運ぶことができる人間力を体得して、大学での学びの結びとなるようにしましょう。</p> <p>プレゼンテーション、レポート等を実施します。プレゼンテーション評価は返却します。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>3 年次までの演習・研究科目についての理解が、きちんとなされていること。</p> <p>大学での学びの総決算です。社会にしっかりアンテナを張って、自分の関心があるものを常に意識するようにしていきましょう。そうすることで、卒業研究のテーマについて、深めることができるばかりでなく、社会に出ても、生き方の指針となるような物差しを得ることができます。</p> <p>提出した論文の案文、口頭発表などに対して与えられた教員やゼミ生からのコメントを踏まえ、さらに自ら必要な情報・データ・事例を収集し、文献を読み、考え、書いた論文を向上させる努力が求められます。情報収集、論考、意見の発信という卒論への取り組みは、4 年間の勉学の集大成となるものであり、また将来の自分の知的活動（社内の稟議・提言や顧客への提案など）の土台となりうることを念頭に、他の授業科目とは異なる特別な思いと意気込みで、注力してほしいと思います。</p> <p>「研究活動をする学生・教職員のみなさまへ」を理解して、卒業論文に誠実に取り組んでください。</p>